

入館者 200 万人達成に感謝いたします

三井記念美術館は、平成17年に中野区の三井文庫別館を、三井家の創業の地であり三井グループ各社に縁の深い中央区日本橋に移転し、本格的な美術館として開館いたしました。

三井記念美術館の使命は、三井家に伝来した貴重な東洋・日本の美術コレクションを安全に管理し、それを展示して多くの方々に鑑賞と教育、研究の場を提供することにあります。それとともに海外と日本の美術館・博物館、社寺、個人の方々からご出品を賜った東洋と日本の優れた美術品による展覧会をこれまでに63回開催し、多くの方々にご好評をいただいております。

一昨年には開館10周年を記念し、三井記念美術館所蔵の作品を中心にして、今は三井から離れ、他の美術館・博物館あるいは個人の所蔵になっている名品・優品も加え一堂に展示した、『三井家伝世の至宝』展を開催することができました。

そしてこのたび、開館以来、ご来館いただいた方の総数が200万人に達しました。このことは「広く多くの方々に、優れた美術品鑑賞の場を提供する」という美術館本来の使命に沿った、社会的に意義あることと考えております。

これまで三井記念美術館に対しまして、温かいご支援ご協力をいただきました多くの関係者の方々に、改めて感謝申し上げる次第です。

また、200万人の方々にご覧いただいた重みを十分に受け止め、今後とも全職員が一体となって、館の発展と社会への貢献を目指して、さまざまな美術館活動を展開していきたいと考えておりますので、よろしくご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

平成29年10月24日

三井記念美術館
館長 清水 眞澄